

2月20日に開催された図書館審査会表彰式の前日19日の昼休み、図書室に来ていた図書委員と本を読みに来ていた児童に本の整理と机と椅子を運ぶことを手伝ってもらいました。机と椅子も重くて大変だったと思いますが、その後、私が廊下で作業をしていると、いつも掃除当番で来てくれる子が、「暇だから掃除しに来た」とバケツと雑巾を持って来ました。（この日は掃除がない日です。）「ありがとう。」とお礼を言い、引き続き廊下で作業をしていたら、室内からは楽しそうな声が聞こえます。そして一人が、「たわしもつないですか。？」と。探しに中に入ると、なんとこの光景でした。何もお願いもしていないのに一人の行動がそこにいた全員に広がりみんなで一生懸命床磨きをしていました。私は、感動して涙が出そうでした。

そして、その日だけにとどまらず、審査会当日の青空タイム、昼休みにまで来てくれました。なかには、「青空タイムに来て担任の先生に怒られるかも。」と言っている子もいました。

貴重な休み時間を3回もつぶして来てくれたこと、寒い中床磨きを一生懸命してくれたこと、本当に感謝し、この審査会で最優秀賞をもらったことよりもうれしく思いました。

那加第一小学校の児童はなんて心が美しいのだろう感動しましたので、お伝えしたいと思います。

柴田

